

コメントの概要と、コメントに対する考え方

No.	コメントの概要	コメントに対する考え方
1	<p>証拠金算出に、一週間前とはいえ過去データを使用するのは意味がないのではないのでしょうか。</p> <p>今後、市場が荒れる可能性があるため、投資家保護の観点から、リアルタイムのレートを用いなければ、更に、相場変動リスクに晒されると思われます。</p> <p>FX業者においてもリアルタイムで証拠金を見るところが多くなっていると思われ、その流れを止めるのはおかしいのではないのでしょうか。</p> <p>多くの投資家は自分でリスク管理をしっかりと行っていると思われます。</p>	<p>本取引所は、下記の観点から、今回ご提示した案が、投資家の皆様の利便性ならびに投資家保護に資するものと考えております。</p> <p>① 本取引所は、一週間単位にて為替証拠金基準額を見直すこととし、毎週初、その翌週に適用する為替証拠金基準額を公表することと致しました。</p> <p>事前の周知期間を設けることにより、投資家の皆様は、翌週に適用される為替証拠金基準額が分かり、保有するポジションや証拠金預託額の調整を図ることができることとなります。</p> <p>② 金融商品取引業者等に対し、既にロスカット・ルールの整備・遵守が義務付けられています。このロスカット・ルールの管理体制のため、リアルタイムでの為替相場を用いた保有ポジションの時価評価が為されることとなっています。</p>
2	<p>為替証拠金基準額の通知と同じタイミングで、金融取のサーバからのデータ転送による取得を可能にしてほしい。</p>	<p>為替証拠金基準額につきましては、毎週月曜日、弊所公式ウェブサイトにおいて、HTML 形式による表示に加え、CSV ファイルを掲載することと致します。</p> <p>データによる取得は、上記 CSV ファイルをご利用下さい。</p>